

京都市では、各施設の運営がどのようになっているか、税金がどのように使われているかを市民の皆さまに分かりやすくお伝えする取組を行っています。

## 京都市聴覚言語障害センターの運営について

当センターは、昭和 53 年に、聴覚言語障害のある市民の総合福祉施設として、地域生活における相談や、社会参加の支援機能、また入所者施設において重度の障害ある市民の利用先を確保することを目的として開設されました。現在、聴覚・言語に障害を持つ方々の人として豊かな暮らしや社会参加を実現できるよう支援に取り組んでいます。

### 若木寮の収入と支出

総額 0.9 億円

<支出> 利用者 1 人当たりの運営経費 6,520 円 (A)

人件費 4,690 円 (73%)	事業費 1,600 (25%)	就労支援 事業費 90 円 (1%)	その他 (少額 修繕費等) 140 (1%)
----------------------	--------------------	-----------------------------	------------------------------

<収入> 総額 0.17 億円

利用者 1 人当たりの収入 1,260 円 (B)

総額 0.73 億円

利用者負担金 860 円 (13%)	就労支援 収入 90 円 (1%)	その他 310 円 (5%)
--------------------------	----------------------------	----------------------

(A) - (B)

**差額 5,260 円**

(81%)

### 会館管理の収入と支出

総額 0.1 億円

<支出> 利用者 1 人当たりの運営経費 350 円 (A)

事務費 320 円 (92%)	修繕費 30 円 (8%)
--------------------	------------------

<収入> 総額 0.09 億円

利用者 1 人当たりの収入 30 円 (B)

総額 0.91 億円

(A) - (B)

**差額 320 円**

(91%)

その他 30 円 (9%)
------------------

## 情報提供施設の収入と支出

<支出>

利用者1人当たりの運営経費 19,420円

総額 1.2 億円

運営委託費（人件費・講座開設費等）  
19,420円（100%）

<収入>

利用者1人当たりの収入 19,420円

総額 1.2 億円

公費で負担  
19,420円（100%）

いずれも概数  
10円単位で四捨五入

○ 施設を利用しない方も含めた市民の負担（公費負担）により、現行の利用料金等で施設が運営されています。

施設の運営費は、利用者の負担（施設使用料等）と公費負担（市民の皆様に納めていただく税金）などにより賅われています。

施設運営の現状について「見える化」を進め、施設の状況に応じた収支改善の取組（維持管理コストの見直し、施設の目的を踏まえた稼働率の向上、受益者負担の適正化等）を進めてまいります。

[京都市保健福祉局障害保健福祉推進室 222-4161]